

学習環境づくりが大切です

- 1 落ち着いて学習できる環境をつくりましょう。**
 - 机の上や周りに気になる物を置かないなど、集中して学習できる環境をつくってあげましょう。
 - 「テレビを見ながら」「音楽を聴きながら」「お菓子を食べてながら」など、「ながら学習」はさせないようにしましょう。
- 2 子どものやる気を引き出しましょう。**
 - できるだけ学習内容に目を通し、ほめたり、励ましたり、認めたり、前向きな声かけを心がけましょう。
- 3 生活習慣を身につけさせましょう。**
 - 規則正しい生活のリズムを身につけさせましょう。
 - 「早寝・早起き・朝ごはん」を意識させましょう。

ぜひ、家庭での学習の参考にしてください！

- ・家庭学習の手引き
- ・「たんばささやまっ子学力向上プラン」リーフレット



連絡先一覧

たずねたいこと、気になることがあれば、ご連絡ください。サポートネットワークも充実しています。

丹波篠山市教育委員会学校教育課 TEL 552-5653

子どもたちの教育についての相談に応じます。

丹波篠山市教育委員会子育て企画課 TEL 552-0075

放課後児童クラブ等の子育てに関する支援を行っています。

丹波篠山市健康課 TEL 594-1117

保健師や栄養士が子育てや子どもの発達への支援を行っています。

丹波篠山市教育研究所 TEL 552-5824

いじめ、不登校、非行等の問題に関する相談に応じます。

教育支援センター「ゆめハウス」 TEL 590-8111

不登校に関する相談に応じます。

丹波篠山市立篠山養護学校 TEL 552-5237

特別な支援を必要とする子どもたちの教育についての相談に応じます。

丹波篠山市児童発達支援センター TEL 552-0236

発達に課題のある子どもやその保護者の子育て支援を行っています。

川西子ども家庭センター丹波分室 TEL 0795-73-3866

子どもの養育・発達等について相談・検査に応じます。

ひょうごっ子悩み相談センター

365日 24時間 TEL 0120-0-78310

平日9:00～17:00 TEL 0120-783-111

いじめ、不登校、友人関係や進路、子どもの教育上のさまざまな悩みに関する相談に応じます。

たんばささやまっ子 学力向上プラン

丹波篠山市 学力の樹

学びの根っこを育もう！

丹波篠山市では、子どもたちに育む学力を「一本の樹」ととらえて学力向上に取り組んでいます。その中でも、「樹が育つ土壌の栄養分」として「4つの力（自分力・つながり力・ゆめ力・学び力）」を育むことを重視しています。栄養たっぷりの土を作り、根を丈夫に育て、「学力の樹」を大きく元気に育てていきましょう！

知識

技能

思考力

判断力

表現力

学びに向かう力

人間性等

家庭で大切にしてもらいたい「学力の樹」を育む4つの力

自分力

自分を見つめ
コントロールできる力

たとえば・

- ・自分の良いところを知っている。
- ・毎日、同じ時刻に起きたり、寝たりしている。
- ・いじめをなくすために行動している。

つながり力

人間関係を築こうとする力

たとえば・

- ・人が困っている時は、進んで助けている。
- ・お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加している。
- ・自分から進んであいさつをしている。

ゆめ力

将来に向かって
努力できる力

たとえば・

- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・難しいことでも、失敗をこわがらずチャレンジしている。
- ・自分が努力すべきことを決めて、最後まであきらめずに取り組んでいる。

学び力

学びに向かう力

たとえば・

- ・自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・進んで本を読んでいる。
- ・課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

家庭と学校が協力して「4つの力」(自分力・つながり力・ゆめ力・学び力)を育てましょう！

「4つの力」で頑張ることを決めて書いてみよう！

自分力

自分を見つめコントロールできる力

ゆめ力

将来に向かって努力できる力

つながり力

人間関係を築こうとする力

学び力

学びに向かう力

表紙の(例)を参考にして考えてみよう。

低学年

学校から出された宿題に、毎日忘れずに取り組ませましょう。

決まった時間、決まった場所で学習する習慣を身につけましょう。

就学前

絵本の読み聞かせなどを通して、家族のコミュニケーションをはかりましょう。

自然とのふれあいや運動遊びなどの様々な体験を通して、興味関心を高めましょう。

学びに向かう力を育てよう！

「今度の先生は宿題多いかな…。」「宿題がないと勉強しないんです。もっと出してください。」など、子どもたちや保護者の方から、宿題についての声をよく聞きます。「家でする学習=宿題」と思いがちですが、自分で考えて取り組む「宿題以外の家庭学習」こそ、大事にしたいものです。

これからの子どもたちには、「誰かの指示どおりする」のではなく「自分で考えて行動する力」が求められています。「宿題以外の家庭学習」はその基礎をつくるチャンスです。自分で考えて取り組んだ家庭学習が学校の学びに役立てば、次の「学びに向かう力」が生まれます。これが「学習習慣がついている」状態です。家庭と学校が協力して「学びに向かう力」を育てていきましょう。



高学年

中学生になれば、テストや受験に向けて、「自分で考えて学習」する力が必要となります。その日の復習、明日の予習、テスト前の事前対策を計画的・継続的に取り組める学習環境が大切です。

「自分で考えて学習」している内容を見たとき、最初は「これでいいの？」と思うかもしれませんが、しかし、急にできるようにはならないものです。「こんなことをしてみたら？」と声をかけたり、がんばっていることをほめたりしながら、取り組み続ける力を育てましょう。

「毎日忘れず宿題をする」という習慣ができているからこそ、それを土台に「自分で考えて学習」することができるようになります。「この学年なら宿題をして当たり前」ではありません。忘れず取り組む姿勢をしっかりほめ、次のステップにつなげていきましょう。

文字に親しむこと、自然とふれあうこと、体を動かすことは、全ての学びの基礎となる大切な経験です。高学年や中学生になっても、身近に本がある環境や豊かな自然・文化にふれる機会をつくり、子どもたちの心を豊かに育てましょう。